みかほっ子応援団通信11

2026年10月1日（木）

札幌市が目指すコミュニティ・スクール【札幌らしさのポイント】
①令和４年４月に全市展開した「小中一貫した教育」と連動した仕組みとします

②「さっぽろっ子自治的な活動」と学校運営協議会をつなげることで「子どもの声」を学校運営に反映させます・・・この２つです

美香保中学校区のコミュニティスクールは、特にこの「子どもの声」を直接聞き学校と地域が連携してより良い地域とは何かを考えています。本年度は美香保地区では「みかほっ子運営委員会」それを経て「みかほっ子サミット」を行いました。この２つの会議の間に中学校の代表が「さっぽろっ子サミット」に参加し、今回のみかほっ子サミットでも報告しその体験を生かしてくれました。

7月28日（火）第２回みかほっ子運営委員会

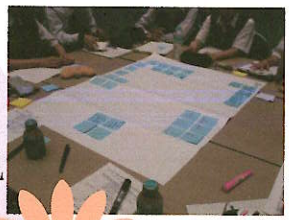




パートナー校の代表児童生徒が美香保中学校に集まり8月18日（火）に行われる「さっぽろっ子サミット」に先がけ**「私たちの学校、私たちの地域をもっと好きになるために」**をテーマに、小中学生で意見交換をしました。また、会の後半には、10月27日（火）に予定されている「みかほっ子交流会」でどんなことをするかについて、事前アンケートの結果をもとに議論を交わしました。今回は、代表児童生徒のみの参加でしたが、小中の連携の深まりを実感できるたいへん熱量のある会議になりました。

8月18日（火）第3回さっぽろっ子サミット





札幌市立の中学校95校から約230人の生徒が参加し、**「わたしたちの学校・わたしたちの地域を、もっと好きになるために」**をテーマに約2時間の活発な意見交換が行われました。美香保中学校は地域の近い栄中、栄町中、福移学園の生徒と交流しました

9月7日（月）第3回みかほっ子サミット



美香保中、美香保小、北光小のパートナー校3校の児童生徒代表と地域の方々が一緒になって、**美香保地区の好きなところや、もっと好きになるためにできること**について語り合いました。今回は美香保中の生徒会役員以外の全校生徒も、今回初めて教室からサミットに参加しましたが、途中、体育館と教室を中継でつなぎ一体感のある対話が繰り広げられました。